

松田正太郎氏

田 隅 三 生 (化学)

松田さんは昭和29年から本年3月まで24年間にわたって金工室技官として化学教室に勤務されました。その間研究上なくてはならない様々な細工物を作って下さるかたわら、宿直業務も分担しておられました。その労を多としたいと思います。

誰からも親しまれる飾り気のない真直ぐな人柄の持主でした。野球好きで、大の巨人ファンであることは皆の知るところで、宿直室のテレビでよくナイターを見ておられた。巨人が勝った次の日には、頼まれものを喜んでやってくれるという評判がありました。大きな声で何か歌らしきものをうなっているかと思うと、“ハックション チキシヨウメー”と遠慮なくやってみたり、化学教室の名物男の一人でした。彼の居なくなった金工室は淋しい部屋になりました。松田さん、いつまでもお元気で！

松田正太郎氏，昭和53年
3月29日赤門学会館で
の送別会の席上で撮影

